

日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成28年10月7日(金) 18:30～20:30	苫小牧市民会館 (苫小牧市) 定員:80名 (事前に申し込みが必要です)	・ストレスチェックに係る面接指導について 札幌心身医療研究所長 久村 正也 ※7月4日、7月7日、8月10日、8月12日、8月19日、9月1日、9月21日、 9月30日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年10月7日(金) 18:30～22:30	フォレストインヴェイト函館 (旧ロワジュールホテル函館) (函館市)	・ビデオ研修 ・法規の解説 函館労働基準監督署副署長 菊池 俊文 ・職場の環境管理・作業管理と職業病について －化学物質による生体影響の考え方－ 旭川医科大学医学部健康科学教授 吉田 貴彦 ・健康管理と健康づくりについて －勤怠管理と健康管理、管理監督者のなすべきこと－ 札幌市総務局職員部職員健康管理担当部長 築島 健	基礎研修 実地1・後期3 生涯研修 更新1・実地1・専門2	北海道医師会 事業第四課 (011-231-1727)
※詳細は9月1日号附録にて案内済み				
平成28年10月21日(金) 19:00～20:30	さっぽろ駅前クリニック (札幌市) 参加費:1,000円	北海道リワーク勉強会 ○シンポジウム ・産業医の立場からリワークを語る 札幌市総務局職員部職員健康管理担当部長 築島 健 公益財団法人北海道労働保健管理協会 渡辺 智明	生涯研修 専門1.5	北海道リワーク勉強会事務局 札幌駅前クリニック 北海道リワークプラザ (011-280-0556)
平成28年10月22日(土) 10:00～17:00	札幌市医師会館 (札幌市) 参加費:2,000円	－平成28年度日本産業衛生学会北海道地方会－ ○特別講演1(11:00～12:10) ・低線量放射線被曝の健康への影響とその対策 札幌医科大学医学部公衆衛生学教授 森 満 ○特別講演2(13:15～14:15) ・がん患者をはじめ、病状や治療でハンディキャップ を有する労働者への治療と就労の両立支援について 産業医科大学産業衛生学教授 宮本 俊明 ○シンポジウム(14:20～16:50) ・職場復帰と両立支援をめぐって J R 札幌病院保健管理部長 佐藤 広和 ほか	生涯研修 専門4.5	【日本産業衛生学会 北海道地方会事務局】 (0166-68-2402) Mail: jsohhokkaido- office@umin.ac.jp
平成28年10月24日(月) 18:30～20:30	北海道ホテル (帯広市) 定員:70名 (事前に申し込みが必要です)	・ストレスチェック制度と産業医の役割について 北海道労働保健管理協会相談役・医療本部長 清田 典宏	基礎研修 後期2 生涯研修 専門2	帯広市医師会 (0155-24-2802)
平成28年10月27日(木) 18:30～20:30	旭川大雪クリスタルホール (旭川市) 定員:70名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援 のためのガイドラインについて 社会医療法人明生会道東脳神経外科病院副院長 関 建久 北海道ガンセンター医療社会事業専門職 木川 幸一	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年10月29日(土) 13:30～17:00	パナソニックデバイス帯広株 (帯広市) (事前に申し込みが必要です)	・職場巡視 ・労働者の安全衛生活動状況について パナソニックデバイス帯広(株)総務部長 松尾 国彰 ・労働者の健康確保対策について 帯広労働基準監督署安全衛生課長 大舛 豊誠 ・最近の労働衛生の話題から 木下歯科医院長(労働安全衛生ｺﾝﾄﾗｰ) 木下 隆二	基礎研修 実地2・後期1.5 生涯研修 更新0.5・実地2・専門1	十勝医師会 (0155-28-2898)
平成28年10月31日(月) 18:30～20:30	札幌市医師会館 (札幌市) 定員:200名 参加費:1,000円 ※札幌市産業医協議会会員は無料 (事前の申し込みは不要です)	・がんを知り、がんに負けない2016 北海道がんセンター院長 近藤 啓史	基礎研修 後期2 生涯研修 専門2	札幌市医師会 (011-611-4181)
平成28年11月7日(月) 18:30～20:30	ホテル黒部 (北見市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援 のためのガイドラインについて 社会医療法人明生会道東脳神経外科病院副院長 関 建久 ※10月27日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年11月10日(木) 18:00～22:00	小樽市医師会館 (小樽市) ※詳細は本号附録にて案内	・ビデオ研修 ・法規の解説 小樽労働基準監督署 ・職場の環境管理・作業管理と職業病について －低線量放射線被曝の健康への影響とその対策－ 札幌医科大学医学部公衆衛生学教授 森 満 ・健康管理と健康づくりについて －職場におけるメンタルヘルス－ 特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院院長 松原 良次	基礎研修 実地1・後期3 生涯研修 更新1・実地1・専門2	北海道医師会 事業第四課 (011-231-1727)

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成28年11月10日(木) 18:30～20:30	札幌市医師会館 (札幌市) 定員:200名 参加費:1,000円 ※札幌市勤務医協議会・札幌市病院協議会・札幌市産業医協議会会員は無料	・ストレスチェックの現状について 北海道労働局労働基準部健康課長 木村 敏宏	基礎研修 後期2 生涯研修 更新2	札幌市医師会 (011-611-4181)
平成28年11月15日(火) 18:30～20:30	ホテルサンシティ函館 (函館市) ※駐車場無し 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・中高年の健康管理について 北海道情報大学先端医療・健康情報教育センター長 佐藤 浩樹 ※10月6日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年11月16日(水) 18:00～21:00	ホテルスエヒロ (滝川市) (事前に申し込みが必要です)	ストレスチェックに対する具体的な対応 ・事業主としての従業員への対応 ーストレスチェックの実施と実施後の対応ー 滝川労働基準監督署長 桜田 勝幸 ・産業医としての具体的な対応 ー高ストレス者への面接指導の方法ほかー 北海道労働保健管理協会産業保健部長 飯田 和久	基礎研修 後期3 生涯研修 更新1・専門2	滝川市医師会 (0125-24-8744)
平成28年11月17日(木) 18:30～20:30	帯広経済センタービル (帯広市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて 社会医療法人明生会道東脳神経外科病院副院長 関 建久 ※10月27日、11月7日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年11月19日(土) 20日(日) ※詳細は本号附録にて案内	北海道医師会館 (札幌市) 【産業医学基礎(後期) 研修会]	<19日(土)> ・最近のわが国における悪性新生物の疫学 北海道医療大学看護福祉学部教授 西 基 ほか4題 <20日(日)> ・ストレス・チェック制度のABCー産業医としての押え所ー 札幌心身医療研究所長 久村 正也 ほか6題	基礎研修 後期12 ↓ 19日ー5単位 20日ー7単位 計 12単位	北海道医師会 事業第四課 (011-231-1727)
平成28年11月22日(火) 18:30～20:30	釧路ロイヤルイン (釧路市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて 社会医療法人明生会道東脳神経外科病院副院長 関 建久 ※10月27日、11月7日、11月17日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年11月28日(月) 18:30～20:30	北海道建設会館 (札幌市) 定員:70名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて 北海道がんセンター医療社会事業専門職 木川 幸一 ※10月27日、11月7日、11月17日、11月22日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年12月2日(金) 9:40～17:00	中央労働災害防止協会 (札幌市) 定員:60名 受講料: THP登録者 18,510円 中災防協会賛助会員 18,510円 一般 21,600円 (事前に申し込みが必要です)	・働く人の健康づくりの動向 中央労働災害防止協会 ・アクティブガイド(健康づくりのための身体活動指針)の活用 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所健康増進研究部長 宮地 元彦 ・職場でのイライラ、ムカッの感情をコントロール (一社)日本707「707」協会707「707」アドバイザー、社会保険労務士、行政書士 小林 浩志	生涯研修 専門5	中央労働災害防止協会 北海道安全衛生 サービスセンター (011-512-2031) 受講資格: 健康測定専門研修修了医 師および日医認定産業医
平成28年12月3日(土) 10:00～16:30 日本産業衛生学会北海道地方会 第50回中小企業安全衛生研究会全国集会	札幌市医師会館 (札幌市) 受講料: 産業衛生学会員 2,000円 一般 3,000円 (事前に申し込みが必要です)	○特別講演(13:00～14:00) ・中小企業で働く人々の健康と安全のために 旭川医科大学医学部健康科学教授 吉田 貴彦 ○シンポジウム(14:00～16:30) ・中小企業におけるストレスチェックの取組みを考える 株式会社日本製鋼所室蘭製作所産業医 三村 政雄 ほか	生涯研修 専門3.5	公益財団法人 労働保険管理協会 (011-862-5606)
平成28年12月5日(月) 18:30～20:30	苫小牧市民会館 (苫小牧市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて 北海道がんセンター医療社会事業専門職 木川 幸一 ※10月27日、11月7日、11月17日、11月22日、11月28日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成28年12月10日(土) 11日(日)	北海道医師会館 (札幌市) 【産業医学基礎(前期) 研修会】	<10日(土)> ・総論(2単位) ・有害業務管理(2単位) 北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招へい教授 岸 玲子 ・作業環境管理(2単位) ・作業管理(2単位) ・メンタルヘルス対策(1単位) 旭川医科大学医学部健康科学教授 吉田 貴彦 <11日(日)> ・健康保持増進(1単位) ・健康管理(2単位) ・産業医活動の実践(2単位) 札幌医科大学医学部公衆衛生学教授 森 満	基礎研修 前期14 ※左記8項目の研修については、カッコ内それぞれの単位の修得が必要です。	北海道医師会 事業第四課 (011-231-1727)
※詳細は11月1日号附録にて案内予定				
平成28年12月14日(水) 18:30～20:30	フォートインバリエット函館 (旧ロワジールホテル函館) (函館市) 定員:70名 (事前に申し込みが必要です)	・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて 北海道がんセンター医療社会事業専門職 木川 幸一 ※10月27日、11月7日、11月17日、11月22日、11月28日、12月5日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて
平成28年12月20日(火) 18:30～20:30	旭川市大雪クリスタルホール (旭川市) 定員:70名 (事前に申し込みが必要です)	・ストレスチェック制度に係る研修 メンタルアシスト北海道代表 小林 幸太 ※7月14日、7月20日、7月26日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申し込みはHPにて

*開催日が太字のものは、本号より新たに掲載されたもので、現在日医認定産業医制度指定研修会として日本医師会に承認申請中です。

注1:新規認定のためには、基礎研修50単位以上(前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計50単位以上)の修得が必要です(前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実践2単位のそれぞれの単位の修得が必須)。

注2:更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上(更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上)の修得が必要です。

お知らせ

「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について

◇救急医療部◇

当会ホームページでは急病・急な症状時の対応を紹介する「応急手当WEB」、救急医療機関の適切な利用について理解を深めてもらう「救急医療啓発パンフレット」を掲載しております。

これらの情報をより一層周知することにご協力いただけます医療機関におかれましては、自院ホームページに下記掲載URLへのリンクをお願いいたします。

なお、リンク掲載後のご連絡は不要ですが、今後の連携強化のため、リンクのご一報をいただければ幸いです。

●応急手当WEB

<http://www.hokkaido.med.or.jp/firstaid/>

●救急医療啓発パンフレット

<http://www.hokkaido.med.or.jp/hokkaido/ambulance.html>

連絡先：北海道医師会事業第二課

TEL 011-231-1725 FAX 011-210-4514 E-mail 2ka@m.douji.jp